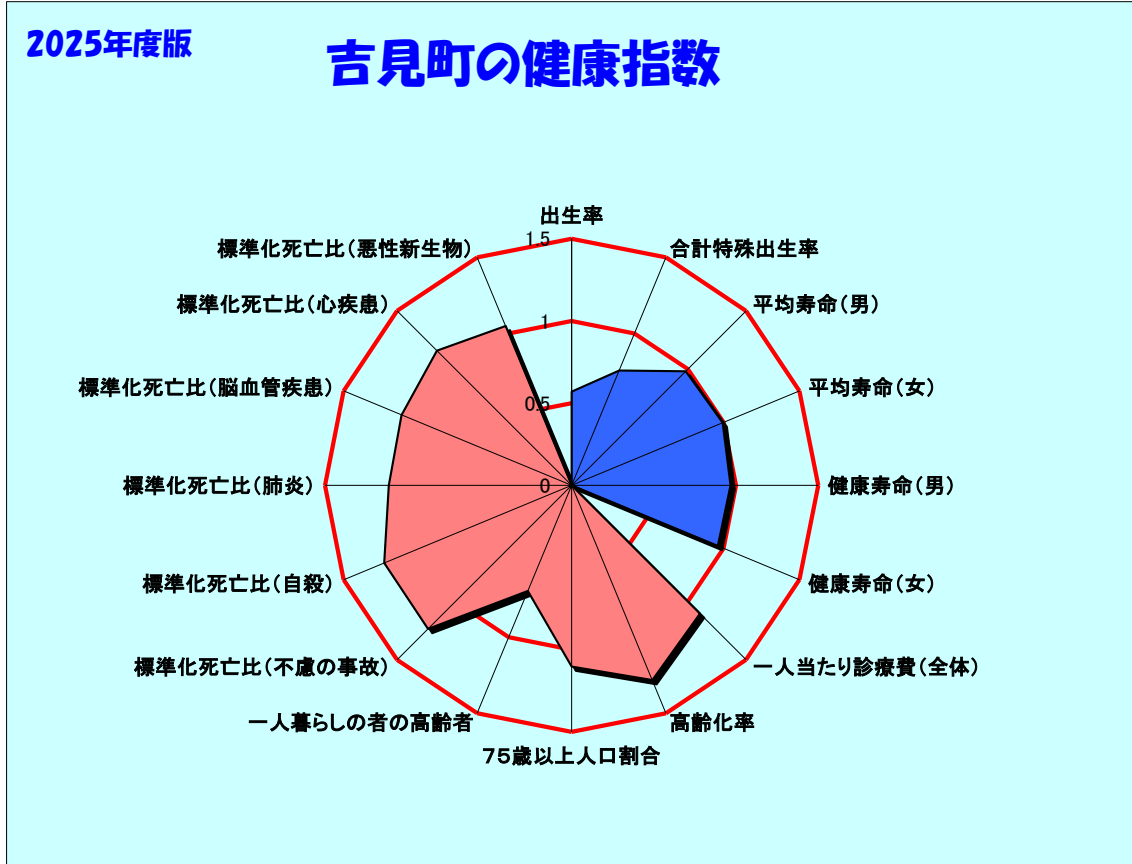


# 地域別健康情報の見方（抜粋）

— 吉見町を例に示しました —

☆【健康指数】は少子高齢化と医療費を中心に埼玉県を1としたレーダーチャートです。

☆高齢化率は、国勢調査人口を基にしています。



## 埼玉県を1とした健康指数

項目	値	概要
1 出生率	0.6	* 合計特殊出生率は0.82で、 埼玉県の0.8倍です。
2 合計特殊出生率	0.8	
3 平均寿命(男)	1.0	* 健康寿命(男性)は、県内で56位です。
4 平均寿命(女)	1.0	* 健康寿命(女性)は、県内で63位です。
5 健康寿命(男)	1.0	* 一人当たり診療費(全体)は327,080円で、 埼玉県の1.1倍です。
6 健康寿命(女)	1.0	
7 一人当たり診療費(全体)	1.1	
9 高齢化率	1.3	* 高齢化率は33.8%で、 埼玉県の1.3倍です。
10 75歳以上人口割合	1.1	
11 一人暮らしの高齢者	0.7	* 75歳以上人口割合は14.6%で、 埼玉県の1.1倍です。
12 標準化死亡比(悪性新生物)	1.0	* 三大疾患のうち、埼玉県より 標準化死亡比が高いのは 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患です。 標準化死亡比が低いのは ありません。
13 標準化死亡比(心疾患)	1.2	
14 標準化死亡比(脳血管疾患)	1.1	
15 標準化死亡比(肺炎)	1.1	
16 標準化死亡比(自殺)	1.2	
17 標準化死亡比(不慮の事故)	1.2	

(資料)

一人当たり診療費：国民健康保険事業状況(2023年度)

高齢化率・75歳以上人口の割合・一人暮らしの高齢者：国勢調査(2020年)

平均寿命・健康寿命：埼玉県の健康寿命算出ソフト「健寿君」(2024年)

標準化死亡比：埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」(2020年～2024年)

出生率・合計特殊出生率：「ツール君」(2020年～2024年)

2025年度版

# 吉見町の現状

## [ 人口の状況 ]

人口静態(2025年) 単位:人

	総数	男	女
人口	17,620	8,896	8,724
65歳以上人口	6,574	3,128	3,446

資料: 埼玉県町(丁)字別人口調査

世帯(2020年)

世帯数	6,864
一世帯人数	2.65

資料: 国勢調査

人口動態(2024年) 単位:人

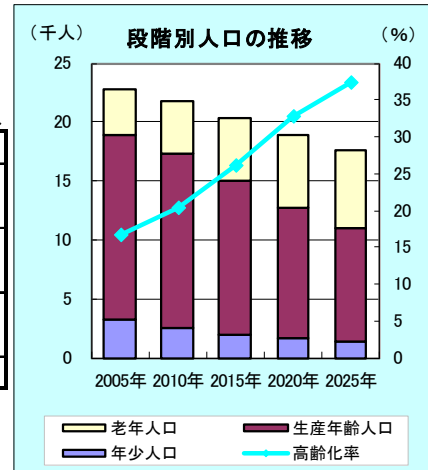
	総数	男	女
出生数	54	21	33
死亡数	304	146	158
出生率	3.1	(人口千対)	
死亡率	1,702.2	(人口10万対)	

資料: 人口動態統計、埼玉県町(丁)字別人口調査

段階別人口の推移

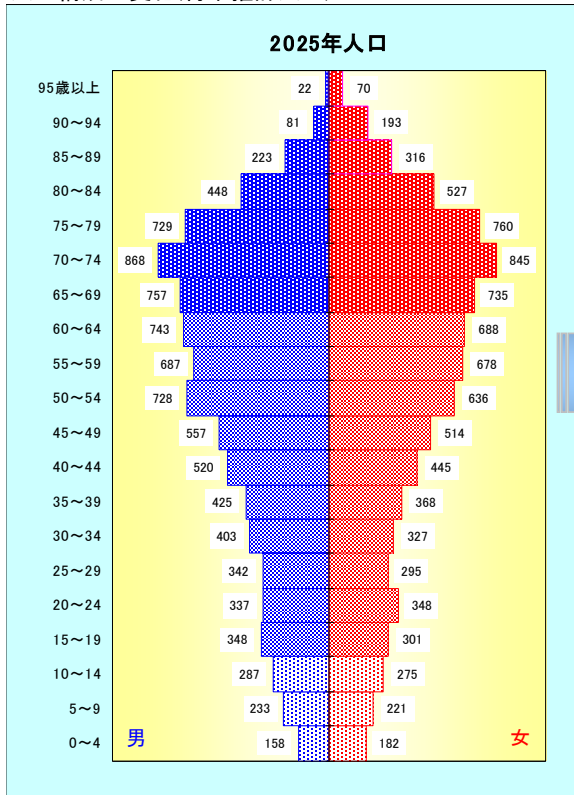
	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年
年少人口 (0~14歳)	3,288	2,570	1,991	1,608	1,356
生産年齢人口 (15~64歳)	15,640	14,778	13,050	11,113	9,690
老年人口 (65歳以上)	3,799	4,423	5,341	6,199	6,574
高齢化率	16.7%	20.3%	26.2%	32.8%	37.3%

資料: 埼玉県町(丁)字別人口調査

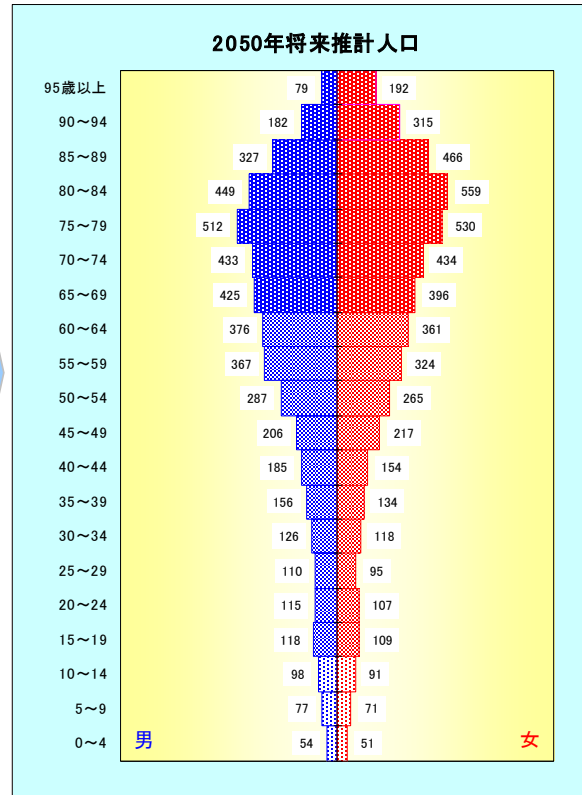


★町(丁)字別人口を基にした高齢化率です。

人口構成の変化(将来推計人口)



資料: 埼玉県町(丁)字別人口調査



資料: 国立社会保障・人口問題研究所

「日本の市区町村別将来推計人口(2023年推計)」  
(2020年国勢調査人口を基準に推計)

## [ 平均寿命と健康寿命 ]

(2024年)

単位:年

	総数	男	女
平均寿命(0歳平均余命)	—	79.63	86.62
65歳平均余命	—	19.05	23.61
65歳健康寿命	—	17.27	20.05
65歳要介護期間	—	1.78	3.57
要介護等認定率(65歳以上)	14.5%	11.1%	17.7%

資料: 埼玉県健康寿命算出ソフト「健寿君」

★「健康寿命」(埼玉県における定義): 65歳に達した県民が健康で自立した生活を送る期間  
→ 具体的には、「要介護2」以上になるまでの期間

★「要介護期間」 : 「要介護2」以上の期間

★「要介護等認定率」: 「要支援1」から「要介護5」の認定率

## [ 高齢化の状況 ]

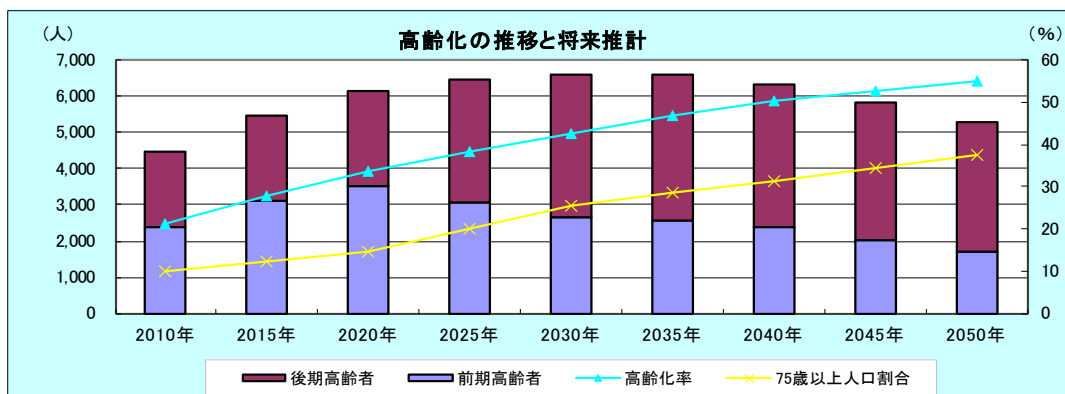
### 高齢化の推移と将来推計

単位:人

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	国勢調査人口			将来推計人口					
総人口	21,079	19,631	18,192	16,857	15,519	14,084	12,581	11,071	9,671
高齢化率	21.3%	27.9%	33.8%	38.3%	42.6%	46.7%	50.4%	52.6%	54.8%
高齢者人口 (65歳以上)	4,482	5,471	6,146	6,454	6,614	6,584	6,344	5,820	5,299
前期高齢者 (65~74歳)	2,392	3,091	3,499	3,050	2,676	2,555	2,392	2,022	1,688
後期高齢者 (75歳以上)	2,090	2,380	2,647	3,404	3,938	4,029	3,952	3,798	3,611

資料: 2020年までは国勢調査

資料: 2025年以降は「日本の市町村別将来推計人口(2023年推計)」



### 一人暮らしの高齢者の動向

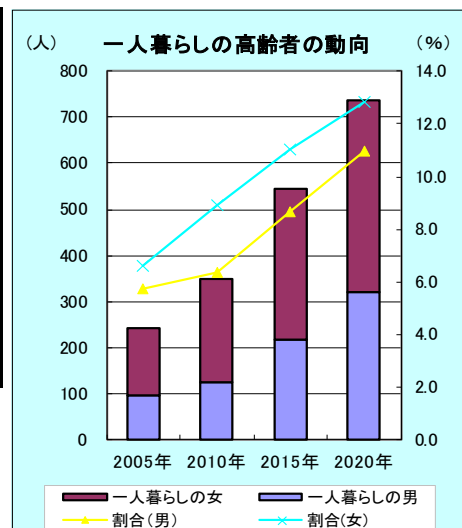
単位:人

	2005年	2010年	2015年	2020年
(総数)				
一人暮らしの者	241	348	544	736
高齢者に占める割合	6.2%	7.8%	9.9%	12.0%
(男)				
一人暮らしの者	96	126	216	320
高齢者に占める割合	5.8%	6.3%	8.7%	11.0%
(女)				
一人暮らしの者	145	222	328	416
高齢者に占める割合	6.6%	8.9%	11.0%	12.9%

資料: 国勢調査

※棒グラフは「一人暮らしの者」を示し、国勢調査の「単独世帯」を指す。

※折れ線グラフは高齢者人口に占める「一人暮らしの者」の割合を示す。



★年齢不詳の人口は含まれていません。

**[ 死亡の状況 ] ←令和5年1月分から「死因順位に用いる分類項目」が変更されました。**

死因別死亡割合(2024年)

単位: 人

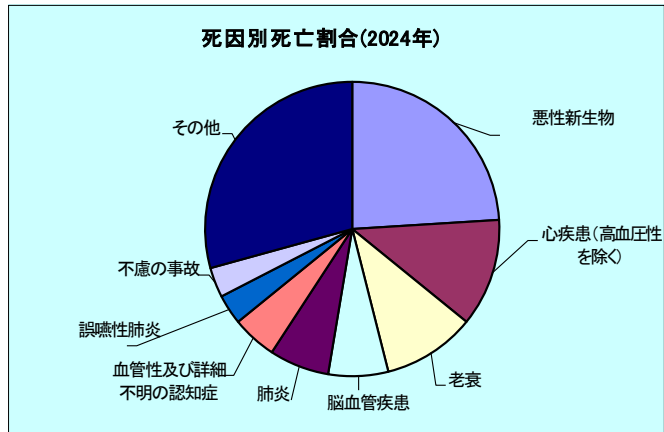
		(%)
全死因		100
第1位	悪性新生物	24.0
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	15.9
第3位	悪性新生物	11.7
第4位	脳血管疾患	6.5
第5位	肺炎	6.2
第6位	腎不全	3.2
第7位	誤嚥性肺炎	2.7
第8位	不慮の事故	3.3
その他		29.3

**【死因別死亡割合】は、  
変更後の「死因順位に用いる分類項目」による順位**

第0位	血管性及び詳細不明の認知症	4.9
第7位	誤嚥性肺炎	3.3
第8位	不慮の事故	3.3
その他		29.3

資料: 人口動態統計

※ 「死因順位に用いる分類項目」による。  
死亡割合が同率の場合は、死因简单分類コード番号順に掲載している。  
9位以下は8位と同率であっても掲載していない。



ライフステージ別死因順位(2020年～2024年)

	幼年期 (0～4歳)	少年期 (5～14歳)	青年期 (15～24歳)	壮年期 (25～44歳)	中年期 (45～64歳)	高齢期 (65歳以上)	総数
第1位	乳幼児突然死症候群 50%		心疾患(高血圧性を除く) 50%	自殺 42.9%	悪性新生物 32.7%	悪性新生物 24.3%	悪性新生物 24.7%
第2位			自殺 50%	悪性新生物 14.3%	心疾患(高血圧性を除く) 16.3%	心疾患(高血圧性を除く) 15.9%	心疾患(高血圧性を除く) 15.9%
第3位						老衰 11.7%	老衰 10.8%
第4位						肺炎 6.6%	脳血管疾患 6.5%
第5位						脳血管疾患 6.2%	肺炎 6.2%
第6位				解離 7.1%	腎不全 7.1%	不慮の事故 4.1%	血管性及び詳細不明の認知症 3.2%
第7位					誤嚥性肺炎 3.1%	腎不全 2.9%	誤嚥性肺炎 2.7%
第8位					肺炎 2.0%	誤嚥性肺炎 2.7%	腎不全 2.7%
	その他 50%			その他 14.3%	その他 20.4%	その他 26.2%	その他 27.3%

**【ライフステージ別死因順位】と【40歳以上の死因順位】は、  
5年間の平均値であることから、  
旧分類の「死因順位に用いる分類項目」による順位**

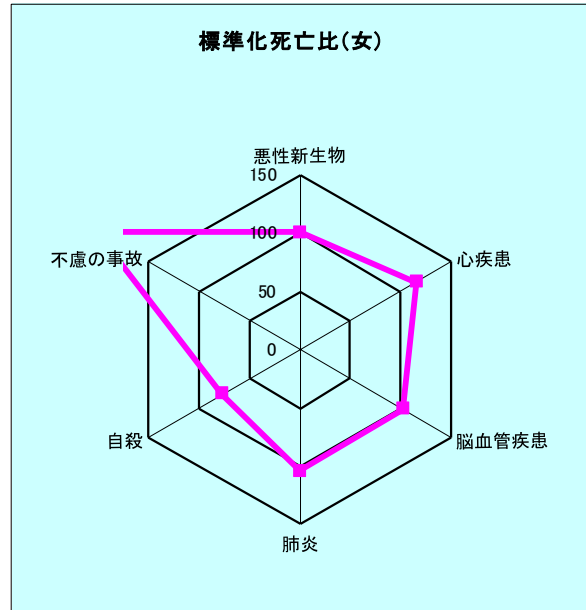
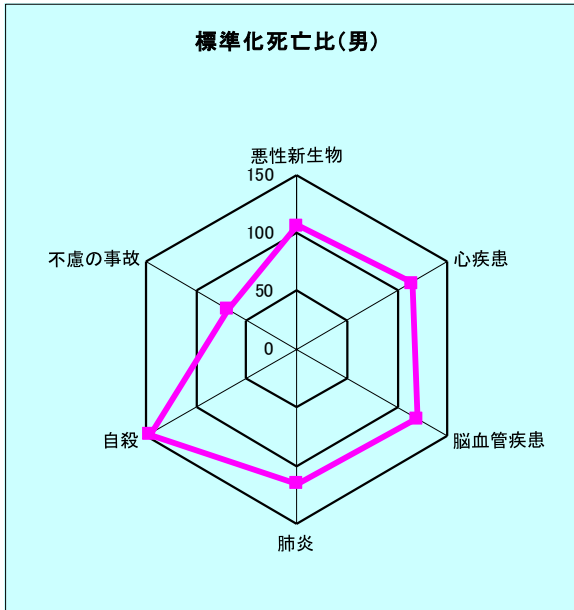
資料: 人口動態統計 ※ 旧分類の「死因順位に用いる分類項目」による。死亡割合が同率の場合は、死因简单分類のコード番号順に掲載している。9位以下は8位と同数であっても掲載していない。

標準化死亡率(2020年～2024年)

(基準集団: 埼玉県100)

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺	不慮の事故
男	106.3	114.3	119.4	115.3	146.2	69.1
女	100.4	116.1	102.4	104.2	76.4	201.6 **
総数	104.8	115.8 *	111.9	111.1	123.2	123.5

SMR検定: \*p<0.05,\*\*p<0.01



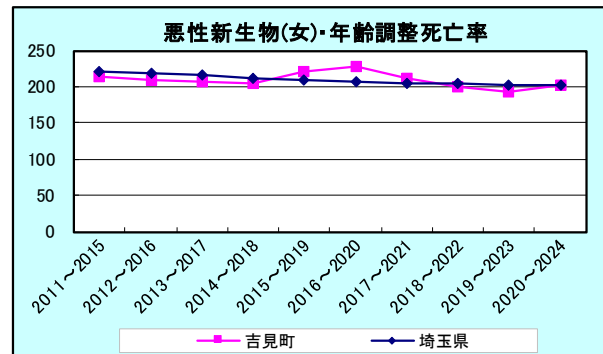
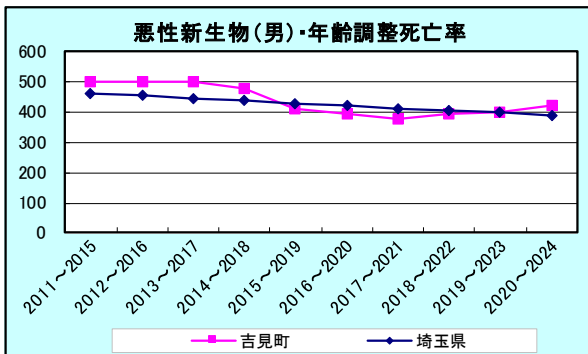
資料: 埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」

年齢調整死亡率

【悪性新生物】

(人口10万対)

		'11 ~ '15年	'12 ~ '16年	'13 ~ '17年	'14 ~ '18年	'15 ~ '19年	'16 ~ '20年	'17 ~ '21年	'18 ~ '22年	'19 ~ '23年	'20 ~ '24年
男	吉見町	501.2	502.9	497.8	475.5	410.9	394.8	379.1	396.5	400.3	423.5
	埼玉県	462.0	455.7	445.7	436.8	428.7	420.2	412.1	403.9	396.7	388.7
女	吉見町	214.2	210.6	207.7	204.4	221.2	227.0	211.4	199.2	193.4	202.4
	埼玉県	221.5	219.0	216.5	212.9	209.0	208.0	205.4	203.7	202.5	202.0



☆男女別に悪性新生物・心疾患・脳血管疾患・自殺・不慮の事故の年齢調整死亡率の経年変化が把握できます。2023年度版から年齢調整計算は「平成27年平滑化人口・95歳以上一括」で行っています。旧基準の「昭和60年モデル人口・85歳以上一括」での結果は「現状(旧)」で確認できます。

**[ 母子保健の状況 ]**

(2024年)

単位:人

出生数	(再掲)		乳児死亡数	15歳未満死亡数
	低出生体重児出生数	極低出生体重児出生数		
54	5	0	0	0

諸率

出生率	低出生体重児出生率	極低出生体重児出生率	乳児死亡率	15歳未満死亡率
3.0 (人口千対)	92.6 (出生千対)	0.0 (出生千対)	0.0 (出生千対)	0.0 (人口10万対)

資料:人口動態統計、埼玉県町(丁)字別人口調査

★出生体重不詳の出生数は低出生体重児出生率・極低出生体重児出生率に含まれません。

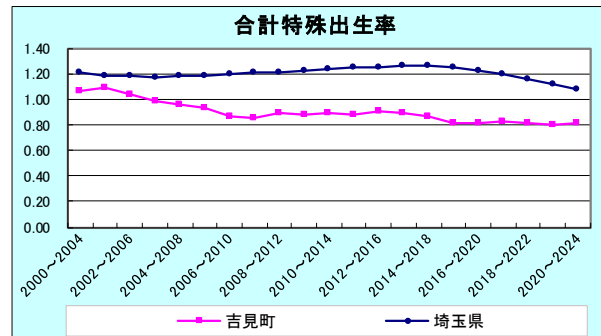
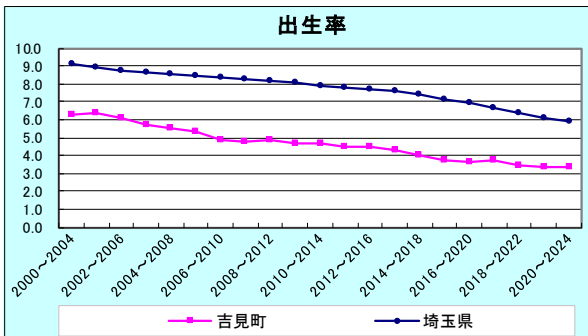
【出生率】

(人口千対)

	'06~'10年	'08~'12年	'10~'14年	'12~'16年	'14~'18年	'16~'20年	'18~'22年	'20~'24年
吉見町	4.9	4.9	4.6	4.5	4.0	3.6	3.5	3.4
埼玉県	8.4	8.1	7.9	7.7	7.4	6.9	6.4	5.9

【合計特殊出生率】

	'06~'10年	'08~'12年	'10~'14年	'12~'16年	'14~'18年	'16~'20年	'18~'22年	'20~'24年
吉見町	0.86	0.90	0.89	0.91	0.86	0.81	0.81	0.82
埼玉県	1.20	1.22	1.23	1.26	1.26	1.22	1.16	1.08



★母の年齢が不詳の出生数は合計特殊出生率に含まれません。

★出生率・合計特殊出生率・低出生体重児出生率・極低出生体重児出生率・乳児死亡率・

15歳未満死亡率の経年変化が把握できます。

**[ 特定健診・がん検診の状況 ]**

特定健康診査(2024年度)

単位:人

	対象者数	受診者数	受診率
吉見町	3,048	1,349	44.3%
埼玉県	866,542	353,634	40.8%

特定保健指導実施状況(2024年度)

単位:人

	対象者数	終了者数	動機付け支援 相当終了者数	指導後服薬者数	終了者数の 割合	特定保健指導 終了者の割合
積極的支援	34	1	0	0	2.9%	11.7%
動機付け支援	172	23	-	0	13.4%	

★特定健康診査・特定保健指導の対象者は、市町村国保の加入者のみです。

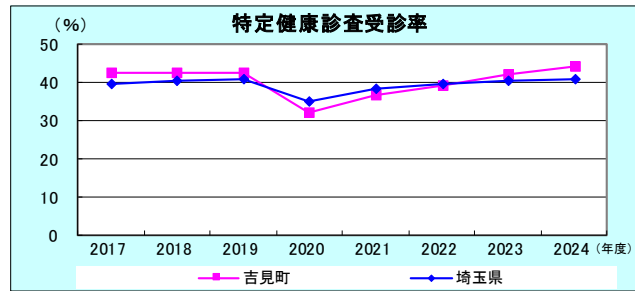
特定健康診査受診率の年次推移

(年度)

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
吉見町	42.6%	42.3%	42.5%	32.1%	36.8%	39.2%	41.9%	44.3%
埼玉県	39.6%	40.3%	40.7%	34.9%	38.2%	39.4%	40.4%	40.8%

資料：特定健診・特定保健指導保険者別実施状況(法定報告)

※対象者：市町村国民健康保険加入者



がん検診の状況(2022年度)

単位：人

	対象者数	受診者数	受診率	要精検率	精検受診率
胃がん	5,895	286	6.8%	2.1%	83.3%
肺がん	8,079	262	3.2%	1.1%	100.0%
大腸がん	8,079	587	7.3%	3.7%	63.6%
子宮頸がん	5,404	431	12.3%	1.2%	60.0%
乳がん	3,907	470	17.0%	2.3%	81.8%

資料：2022年度地域保健・健康増進事業報告(閲覧(健康増進編)市区町村表)

要精検率、精検受診率は2023年度報告(2022年度における各検診受診者数、要精密検査者数)から算出。

☆要精検率の算出に用いた受診者数は、令和5年度報告で改めて把握されたものであり、令和4年度受診者数とは異なります。

☆要精検者数と精検受診者数から精検受診率を算出しました。

がん検診受診率の年次推移

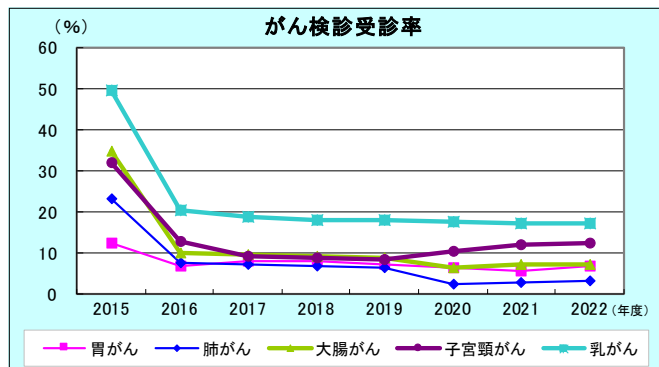
(年度)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
胃がん	12.3%	6.8%	8.2%	7.9%	7.2%	6.5%	5.8%	6.8%
肺がん	23.1%	7.7%	7.3%	6.8%	6.5%	2.6%	3.0%	3.2%
大腸がん	34.9%	9.9%	9.7%	9.2%	8.8%	6.5%	7.2%	7.3%
子宮頸がん	31.8%	12.8%	9.2%	8.8%	8.4%	10.5%	11.8%	12.3%
乳がん	49.4%	20.2%	18.7%	18.1%	18.0%	17.4%	17.0%	17.0%

資料：地域保健・健康増進事業報告

受診率は、40～69歳(胃がんは2016年度以降50～69歳、子宮頸がんは20～69歳)を対象として算出。

- ※「-」は、計数がないことを表す。
- ※「…」は、計数不明又は計数を表章することが不適当な場合を表す。
- ※県、保健所、圏域の受診率は、計数不詳の市町村を除いた値である。



☆「胃がん」「子宮頸がん」及び「乳がん」の受診率

$$= \frac{\text{前年度の受診者数} + \text{当該年度の受診者数} - 2\text{年連続の受診者数}}{\text{当該年度の対象者数}} \times 100$$

☆「乳がん」の受診率算出のための受診者数は、平成28年度以降「マンモグラフィ受診者」

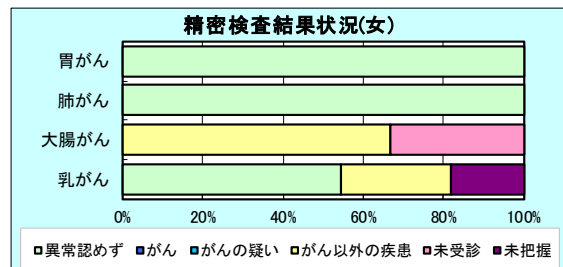
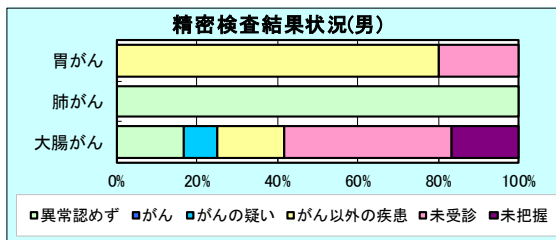
がん検診精密検査結果状況(2022年度)

単位:人

		要精検者数	異常認めず	がん	がんの疑い	がん以外の疾患	未受診	未把握
胃がん	男	5	0 0%	0 0%	0 0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0%
	女	1	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
肺がん	男	2	2 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	女	1	1 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
大腸がん	男	16	2 12.5%	0 0%	1 6.3%	2 12.5%	5 31.3%	2 12.5%
	女	6	0 0%	0 0%	0 0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0%
子宮頸がん		5	1 20.0%	0 0%	CIN等 1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%
乳がん		11	6 54.5%	0 0%	0 0%	3 27.3%	0 0%	2 18.2%

※算定対象年齢は、40～69歳(胃がんは50～69歳、子宮頸がんは20～69歳)とした。

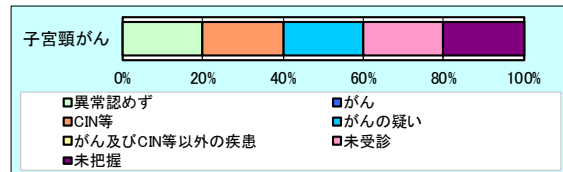
※「CIN等」は、CIN3～1、AIS又は腺異形成であった者を表す。



資料: 地域保健・健康増進事業報告

※「-」は、計数がないことを表す。

※「…」は、計数不明又は計数を表章することが不適当な場合を表す。



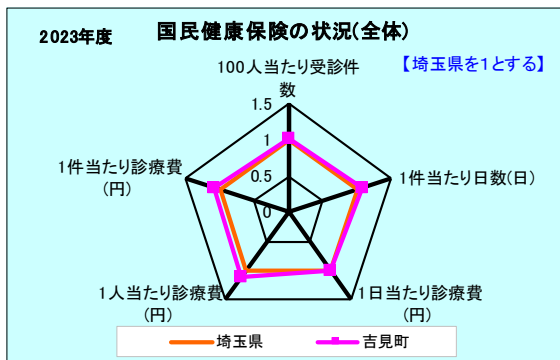
☆未把握・未受診者の把握ができます。

[ 国民健康保険の状況 ]

診療諸率(2023年度)

【全体】

	100人当たり受診件数	1件当たり日数	1日当たり診療費	1人当たり診療費	1件当たり診療費
吉見町	1,089	1.90	15,843	327,080	30,036
埼玉県	1,067	1.77	15,674	296,196	27,759



資料: 国民健康保険事業状況

☆埼玉県を1としてレーダーチャートで比較ができます。

# 指標の算出方法

## [人口の状況]

- 死亡率 =  $\frac{\text{死亡数}}{\text{総人口}} \times 100,000$  (人口 10 万対)
- 出生率 =  $\frac{\text{出生数}}{\text{総人口}} \times 1,000$  (人口千対)
- 高齢化率 =  $\frac{\text{65歳以上人口}}{\text{総人口}} \times 100$  (%)

## [平均寿命と健康寿命]

※平均寿命・健康寿命・要介護期間の算出方法は「埼玉県の健康寿命」(平成 17 年度 埼玉県・社団法人埼玉県医師会発行)参照。

- 要介護認定率(65 歳以上) =  $\frac{\text{65歳以上要介護認定者数}}{\text{65歳以上人口}} \times 100$  (%)

## [高齢化の状況]

- 75 歳以上人口割合 =  $\frac{\text{75歳以上人口}}{\text{総人口}} \times 100$  (%)
- 一人暮らしの者の高齢者に占める割合  
=  $\frac{\text{65歳以上の単独世帯}}{\text{65歳以上人口}} \times 100$  (%)

## [死亡の状況]

- 標準化死亡比(SMR)  
=  $\frac{\text{対象集団の死亡数}}{\sum [\text{基準集団の年齢階級別死亡率} \times \text{対象集団の年齢階級別人口}]} \times 100$
- 年齢調整死亡率  
=  $\frac{\sum [\text{対象集団の年齢階級別死亡率} \times \text{基準集団の年齢階級別人口}]}{\text{基準集団の総人口}} \times 100,000$   
(人口 10 万対)

## [母子保健の状況]

- 低出生体重児(2500g未満)出生率 =  $\frac{\text{低出生体重児出生数}}{\text{全出生数}} \times 1,000$  (出生千対)
- 極低出生体重児出生率(1500g未満)出生率  
=  $\frac{\text{極低出生体重児出生数}}{\text{全出生数}} \times 1,000$  (出生千対)
- 乳児死亡率 =  $\frac{\text{乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$  (出生千対)
- 15歳未満死亡率 =  $\frac{\text{15歳未満死亡数}}{\text{15歳未満人口}} \times 100,000$  (15歳未満人口10万対)
- 合計特殊出生率 =  $\left[ \frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \right]$  15歳～49歳までの合計  
※5歳年齢階級で計算。従って各年齢階級の値を5倍し合計する。

## [健診の状況]

- 要精検率 =  $\frac{\text{要精密検査者数}}{\text{受診者数}} \times 100$  (%)
- 精検受診率 =  $\frac{\text{精密検査受診者数}}{\text{要精密検査者数}} \times 100$  (%)

## [国民健康保険の状況]

- 100人当たり受診件数(受診率) =  $\frac{\text{件数}}{\text{平均被保険者数}} \times 100$
- 1件当たり日数 =  $\frac{\text{診療に要した日数}}{\text{件数}}$  (日)
- 1日当たり診療費 =  $\frac{\text{費用額}}{\text{診療に要した日}}$  (円)
- 1人当たり費用額 =  $\frac{\text{費用額}}{\text{平均被保険者数}}$  (円)
- 1件当たり診療費 =  $\frac{\text{費用額}}{\text{件数}}$  (円)